

小川原脩《群れ》1977年

Shu Ogawara and Ippo Taniguchi Exhibition

小川原脩・谷口一芳二人展

仲間たちへのオマージュ

2021.10.16 Sat
- 2022.2.13 Sun

小川原脩記念美術館 第2展示室

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日／毎週火曜日(但し11/23は開館、翌24日が休館)、

12/31-1/5(年末年始休館)、1/17-21(展示替え休館)

観覧料／一般500(400)円、高校生300(200)円、小中学生100(50)円

()内は10人以上の団体料金 展覧会初日は観覧無料

小川原脩生誕110年・倶知安町開基130年

小川原脩記念美術館

Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)

<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>



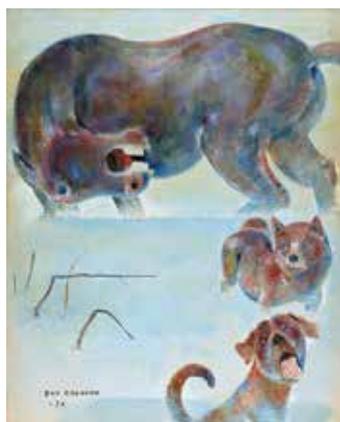
谷口一芳《森は生きている(II)》2011年

小川原作品とともに、当館に所蔵される谷口一芳^{いっぽう}(1919-2013)作品を紹介します。谷口一芳は、野鳥や自然保護への強い関心から、専らフクロウを題材とし、フクロウへの畏敬、愛慕、賛歌を込め、自然との共生、深奥幽玄の世界を追求しました。小川原らが創立し60年以上続く麓彩会にも第9回展(1967)より参加。小川原脩もまた「馬・犬・おおはくちょう」といった動物を主題に、作品を制作していた時期でもありました。

この倶知安の地で交流を深め、動物たちへの想いをそれぞれに絵画へと込めた画家・小川原脩と谷口一芳の作品をご覧ください。



小川原脩《馬》1963年



小川原脩《雪》1972年



小川原脩《水牛(鶏)》1979年



谷口一芳《顔(フクロウ)》1964年



谷口一芳《幻想譜》1970年



谷口一芳《愁色II》2005年

小川原脩 1911-2002

北海道・倶知安町生まれ。東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科卒業。美術学校在学中に「納屋」(1933年)が帝展に入選。美術学校卒業後、福沢一郎らと出会い「エコール・ド・東京」「創紀美術協会」「美術文化協会」などの結成に参加。シュルレアリスム絵画への道を歩んだが、軍の規制が厳しくなり断念。後に、軍の命により戦争記録画を制作。戦後は郷里・倶知安に戻り、岩船修三、木田金次郎らと「全道美術協会(全道展)」の創立に参加。

1958年、野本醇、因藤壽、穂井田日出磨らと「麓彩会」を創立。

1975年、北海道文化賞受賞。1994年、北海道開発功労賞、この年小川原脩画集を出版(共同文化社)。

倶知安町に定住してから60数年もの間、常に意欲的な創作活動を展開する。70歳を目前にして訪れた中国、チベット、インドで創作への新境地を拓いた。

谷口一芳 1919-2013

北海道・当別町に生まれる。戦前サハリンで図説画を修得し、またデッサンを習い画家を志す。1947年、北海道農業試験場の同僚であり画友の竹内豊の紹介を受け、「札幌洋画研究所」で松島正幸、三雲祥之助らに師事。1949年、第4回全道美術協会展(全道展)に初出品で初入選し、翌50年には〈街景〉で春陽会展に初入選。1951年、春陽会展で研究賞とブルー賞受賞、全道展でも北海道新聞社賞を受賞。1953年全道展会員、1980年に春陽会会員となる。1965年、全道勤労者美術展に出品し札幌市長賞を受賞。倶知安への転勤を契機に1967年の第9回麓彩会展より出品、以降2013年まで出品を続けた。1975年に美術研修で中近東、欧州、アフリカをまわる。また取材旅行として1978年アラスカ、1990年ニューヨーク、1993年ニューヨークとフロリダを訪れる。初期は札幌の風景を多く描いていたが、やがて野鳥や自選保護への強い関心から、専ら鳥を題材とし、自然との共生、深奥幽玄の世界を追求した。

●同時開催(第1展示室).....

第63回麓彩会展

2021年10月16日(土)~2022年1月16日(日)

小川原脩展「遙かなるイメージ」

2022年1月22日(土)~5月15日(日)

作者名	作品題	制作年	技法・材料	サイズ(cm)
小川原脩	馬	1963	油彩・キャンバス	116.7 × 91.0
	雪	1972	油彩・キャンバス	162.0 × 130.3
	群れ	1977	油彩・キャンバス	162.0 × 130.3
	大白鳥	1978	油彩・キャンバス	162.0 × 130.3
	水牛(鶏)	1979	油彩・キャンバス	91.0 × 116.7
	裏みち	1992	油彩・キャンバス	60.6 × 91.0
谷口一芳	顔(フクロウ)	1964	油彩・キャンバス	100.0 × 80.3
	幻想譜	1970	油彩・キャンバス	130.3 × 162.0
	鳥(環)	1978	油彩・キャンバス	130.3 × 97.0
	北の守護神	1989	油彩・キャンバス	80.3 × 130.3
	憂会議	1992	油彩・キャンバス	130.3 × 162.0
	鳥の館	1999	油彩・キャンバス	130.3 × 162.0
	愁色II	2005	油彩・キャンバス	97.0 × 130.3
	森は生きている	2011	油彩・キャンバス	130.3 × 130.3

作品はすべて小川原脩記念美術館蔵、展示作品は変更する可能性があります。



Shu Ogawara
小川原脩記念美術館

Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1 (0136-21-4141)
http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/